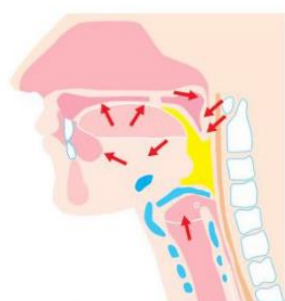


チームごっくん

ニュースレター

9月号では摂食嚥下「**先行期、準備期、咽頭期、食道期**」の1. 先行期、2. 準備期についてお伝えしました。

今回は、3. 口腔期、4. 咽頭期についてお伝えします。

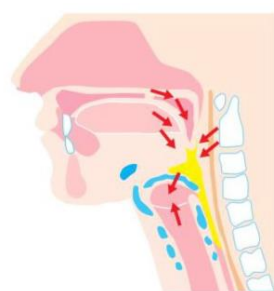


- ③口腔期…準備期で形成された食塊を口腔から咽頭へと運ぶ
- ・「口腔」とついているが咀嚼は含まない

3 口腔期

口腔期が障害されるとどうなる？

- ・舌に運動障害が生じると口腔期が障害されます。
- ・脳血管障害後遺症や ALS によくみられます。



- ④咽頭期…咽頭の食塊を食道へと運ぶ

- ・咽頭蓋と披裂部が気道を封鎖することで、気管に食物が入らないようになっています。
- ・誤って気管に入ると「誤嚥」となり、咳嗽反射が正常であれば激しくムせてしまいます。

4 咽頭期

咽頭期が障害されるとどうなる？

- ・咽頭残留…残留に気づかない。嚥下反射が生じない。咽頭収縮が弱い。
- ・誤嚥…高齢者が誤嚥しやすいものは水分である。水分にとろみをつけて防止できます。